The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 25 | Issue 2 | December 2021

今号では・・・

▶02...スクールカレンダー2022–23
▶04...SNSでフォローしてください！
▶06...K1「パパ、お月さまとって」
▶07...Winter Celebration
▶07...かかしコンクール
▶08...ポジティブでいること
▶10...KIST学生ディベーター
▶12...ソーシャルメディアへの投稿について
▶13...G12経済クラス、日本銀行への校外学習
▶14...埼玉大学HiGEPSプログラム
▶15...Holly Thompsonさんの講演
▶17...KIST Heart Club

> 「見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい。」
>
> —Mahatma Gandhi

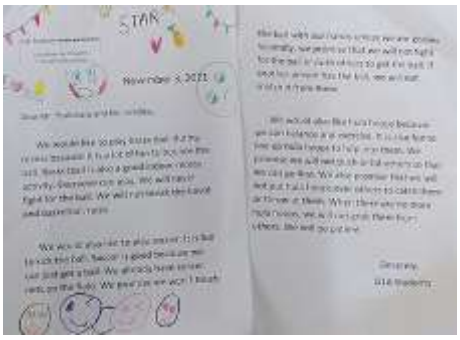
学校長より

Student voice（生徒の声）

「生徒の声」とは、学校や教室で起こることに対して、生徒がどのように意見やアイデアを提供するかを示す言葉です。生徒が、自分の意見やアイデアがクラスメートや学校のスタッフ、さらには学校全体から評価されていると感じることは、どの学校においても重要なことです。生徒の声に耳を傾け、それに基づいて行動することは、学校生活において生徒の関与を高め、良好なな学習環境を作り、維持し、互いに尊敬できる関係を築き、生徒がリーダーシップスキルを身につけ、問題解決を実践する機会を提供するために重要です。

KISTでは、エレメンタリースクールとセカンダリースクールのESRCとSRC（生徒会）が、生徒たちが自分の意見をクラスメートや学校全体に伝える機会を与えるために活動しています。この1年間、SRCは生徒が自分の意見を述べるための様々な機会を提供してきました。昨年、制服の変更を検討していたとき、SRCはサンプルを見て、新しいデザインのさまざまな側面について生徒の意見の聞き取りを行い、また、各クラスが自由にテーマを決められる「ダブルフリードレスデー」を開催しました。更には、SRCが中心となって、より一層学校への愛校心や帰属意識を高めるための新たな「ハウスチャンピオン」対抗戦などを行いました。

東京の非常事態宣言が解除され、多くの小学生が昼休みの遊具使用を再開したいと考えていました。Mr. Bradleyと私は、G1Aから、昼休みの遊具使用を再開したいという内容の手紙を受け取りました。その手紙には、どのような遊具がいいのか、なぜそれがいいのか、どのように責任を持って遊具を使うのかが書かれていました。エレメンタリーのSRCは、各クラスに連絡を取り、休み時間に使用したい遊具の種類について生徒にアンケートを取りました。そして、その結果を私に報告してくれました。



次のページに続く

重 要 な 日 程

2021年12月

10 (G1-G12) Clubs program ends
10 (K3-G5) LEAP classes end
10 (K1-G3) After care not available
13-15 (G9-G11) Semester 1 examinations
16 (W) Winter celebration rehearsals
17 (W) Winter celebration
17 (K1-G3) After care not available
18-Jan 9 Winter vacation
20-21 Office open

2022年1月

10 School resumes for all students
10-17 (G12) Semester 1 DP mock examinations
13 (G5) PYP exhibition explanation session
14 2022-23 admissions applications close
21 (G6-G10) Mathematics diagnostic testing
21 End of semester 1
21 (S) Half day for Secondary students
24 Semester 2 commences
24 (K3-G5) Semester 2 LEAP classes begin this week
26 Japanese New Year Party (*Tentative)

2022年2月

1 (G1-G12) Semester 2 clubs program resumes
1 Semester 1 reports issued
7-10 2022-23 admissions interviews

PYP | MYP | DP

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

前ページの続き

その結果、バレーボールや柔らかいアメリカンフットボールなど、さまざまな遊具を購入し、最近では昼休みにも遊具を使用するようになりました。これにより、生徒たちは体を動かしたり、遊んだり、さまざまなグループで交流したり、とにかく楽しく休み時間を過ごすことができるようになりました！

KISTでは、生徒の視点や意見に耳を傾け、それに基づいて行動することが大切にされていますが、そのためにはSRCが欠かせません。ESRCとSRCのメンバーは、授業以外の時間、多くの場合、始業前や、休憩時間、または放課後に集まり、その役目を果たすために活動しています。彼らの、クラスメートや学校への貢献は称賛に値するものであり、私たちは彼らの努力にとても感謝しています！

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

ニューフェイス

前回の*The Comet* 発行後にKIPSの新しいスタッフ、Taylor Draughnさんが、入学・情報発信担当としてオフィスチームに加わりました。

Ms. Draughnより、

Taylor Draughn
Admissions and Communications Officer

「皆さん、こんにちは。私の名前はテイラーです。KISTのコミュニティの一員になれてとても嬉しく思っています。学校でクラスやイベントの写真を撮っている私を見かけるかもしれませんので、ぜひ声をかけて下さいね。今年度より皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。」

学校コミュニティを代表し、Ms. Draughnの新しい役割での成功を祈っています。

スクールカレンダー2022-23

ご家族の旅行、特に海外への旅行計画などの利便性を考え、2022–23年度の長期休暇や重要な行事日程を以下に記載します。

ご家族には、生徒が休み明けに必ず登校できるよう日程をご確認の上、旅行等の計画を立てて頂けますようにお願いいたします。**カレンダーの完全版は6月に配布されます**

- **新学年度生徒始業日:**
  2022年8月22日
- **秋期休暇:**
  2022年10月22日～30日
- **冬期休暇:**
  2022年12月17日～2023年1月8日
  （生徒の新年度の始業日は2023年1月9日です）
- **春期休暇:**
  2023年3月25日～4月2日
- **ゴールデンウィーク休暇:**
  2023年4月29日～5月7日
- **生徒の最終登校日:**
  2023年6月14日

PYPニュース

国連持続可能な開発目標とKISTユニットの単元

持続可能な開発目標とは？

グローバル目標としても知られる持続可能な開発目標（SDGs）は、貧困を終わらせ、地球を守り、2030年までにすべての人々が平和に繁栄していくことができるようにするために2015年、国連によって採択されました。

SDGsの17の目標はそれぞれ関係があり、1つのアクションを起こすことで、他の目標にも影響を与えるため、社会的、経済的、環境的にも持続可能なバランスが取れた成長が求められます。

また不平等な力関係を改善することにも、国々は優先して取り組んでいます。SDGsは貧困や飢餓、AIDSを終わらせ、女性や女子への差別を撲滅することを目的としています。

あらゆるSDGsの目標を達成するためには、すべての社会の創造性、ノウハウ、テクノロジー、そして財源が必要なのです。

Web **United Nations Development Programme (undp.org)**

KISTのミッションは、国際社会に意義のある貢献ができる思いやりのある個人を育てるということであります。これとIBの求めている生徒主導の行動は、国連SDGsと直接関係しているため、本校の探求のプログラムとSDGsをできる限り関連付けるようにしています。

ここで、生徒や教員たちが国連SDGsに関連してどのような取り組みを行ってきたのかについて、具体例をお見せします。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

K2: ビーバーダム
K2は様々な文化や世界とのつながりについて学んでいます。生徒たちは園庭でビーバーダムを作っています。

Grade 2: ロールモデル
Grade 2はロールモデルとなる人の信条や価値観について調べています。どんな歳であっても、何をしていても、性別に関係なくロールモデルになることができるということを学んでいます。

次のページに続く

前ページの続き

Grade 3: 身体組織

Grade 3では身体組織や各部位がどのように関連しているかについて学んでいます。健康やバランスの取れたライフスタイルを維持することの大切さを学んでいます。

Grade 5: 移住

国連SDGsの17すべての目標を網羅し、Grade 5では人々が移動する原因と影響について学んでいます。

SNSでフォローしてください！

もうすぐ冬休みということもあり、K1からG12までの生徒たちは、授業や課外活動、学校行事などで忙しく過ごしています。

最新の情報を得るために、KISTの公式ソーシャルメディアページをチェックしてみてください。日々のキャンパスライフのスナップショット、生徒会やクラブ活動、生徒やスタッフ、KISTコミュニティメンバーの様々な功績などを定期的に掲載していく予定です。皆様からのコメントもお待ちしておりますので、各記事で生徒たちへの応援の気持ちを伝えてください。

公式ページは、アイコンをクリックするか、右側のQRコードをスキャンすることでご覧いただけます。学校からの公式なお知らせやイベント情報は、今後もE-Communicationsで各ご家庭にお送りしますが、今年度中はソーシャルメディアを活用して、KISTコミュニティや世界中のインターナショナルスクールコミュニティと交流していきたいと思います。

Taylor Draughn
Admissions and
Communications Officer

Facebook

Instagram

Twitter

幼児教育ニュース

KIST Familyの皆さん、お元気でしたか？

あっという間に今年も残りわずかとなり、もうすぐ冬休みを迎えますね。前回の*The Comet*発行の後、K1からK3では大ききなイベントがひとつありました、Autumn Festival です。コロナ禍という中で、子ども達と大きな行事をともにすることはなかなか容易な事ではありませんが、今回も子ども達の笑顔がたくさん見られた一日となりました。

今年は、あいにくの天気となってしまいましたが、新しい試みとして、西館の4階から1階までパレードを行いました。お兄さん、お姉さんがいるお子さんは特に楽しみにパレードを行っていました。今年で2回目となるこのイベントですが、教員たちはそれぞれ、教室を飾り付けたり、楽しいゲームを考えたり子ども達のために色々と工夫を凝らしていました。昨年は1時間目と2時間目という短い時間でしたが、今年は4時間目まで時間を延ばしましたが、やはり楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうものでした。

様々な事に憂い悩む年末となりそうですが、どうか皆さんがご家族とともに穏やかな冬休みを過ごすことができますように願っております。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/
K2A Teacher

K1「パパ、お月さまとって」

'How we express ourselves'のユニットの一環として、K1クラスはアートを通じ、自分たちの想像力を使って、気持ちや創造性を表現しました。生徒たちは、紙粘土、再利用した素材、ペットボトルのキャップ、卵パック、色を塗ったティッシュケース、絵具と筆など様々な材料を用いて、多くの作品を作りました。また、ステージで歌ったり踊ったりしてパフォーマンスもしました。ユニットをさらに面白くするため、エリック・カール著作の「パパ、お月さまとって」を一緒に読みました。お月さまに触れようとする女の子のストーリーに、生徒たちは魅了されていました。女の子はお月さまに手を伸ばしますが、届きません。そこで女の子のパパがとても長いはしごを持ってきて、高い山のてっぺんにかけ、お月さまをとりに行くのです。お月さまが小さくなってきた時、女の子はようやく手に取って一緒に遊ぶことができました。

このお話をリアルに感じてもらうため、K1生徒たちは、自分自身がお月さまに触れる様子を描いた作品を作りました。大きな紙に、青と少しずつの黄色と白を混ぜて塗り、灰色の紙を丸く切ってお月さま、そしてティッシュを使ってクレーター、またストローを使ってはしごを作りました。青色の紙の周りに星を貼って夜空も表現しました。一人ひとりが夜空に向かって腕を伸ばしているのを写真に撮り、それをはしごのてっぺんに付けることで、お月さまをとろうとしている様子を再現しました。

生徒たちはストーリーと同じアートを作ったり、お月さまに手を伸ばしたりして楽しみました。

Claire Yoneyama
K1A Teacher

Winter Celebration

11月に、K1からGrade 5の生徒たちは、Winter Celebrationの一部を録画しました。ここでのパフォーマンスは、世界中の数多くの学校や劇場がアートへの関わりを活性化させるためにミュージカルナンバーを上演する、"All Together Now"と呼ばれる国際的プロジェクトに関連しています。KIST生徒のパフォーマンスの様子は、12月17日よりご視聴可能となります。

かかしコンクール

2021年9月1日（水）～9月26日（日）

第24回かかしコンクールが深川資料館通り商店街協同組合主催で行われました。2021年のサマープログラムセッション2のAfter schoolの日本語クラスの一環としてかかし作りの活動を行いました。そのかかし作りに参加したG2からG5のKISTの生徒でかかしを作りました。今回は初めてコンクールに参加しましたが、作ったかかしは商店街通りで一定期間展示され、独創的な作品を作ってくれた生徒たちに賞状が渡されました。

商店街の活性化に一役かってくれた生徒の皆さん、どうもありがとうございました。

エレメンタリーELS

家で本を読みながらスキルを高める

ご存知の通り、ご家庭で子どもと本を読む時間は有意義なものです。その理由の一つとしては、お子さんのリーディングおよび考える力の成長に多くの影響を与えるからです。KISTコミュニティーの皆さんは幸運なことにも、家の中ではどの言語を選んで読むのかという問題があります。前回の9月の*The Comet*のエレメンタリーELS記事に掲載した通り、「家庭で話されている言語でお子さんに読み聞かせをする」ことは、お子さんの言語能力の成長をサポートするのにとても有効な方法です。つまり、母国語で読むことはその言語のみならず、英語でのリーディング能力の発達にも繋がるのです。

ここでの重要なポイントは、一緒に本を読みながら質問したり本の内容について議論したりすることです。これにより、読み聞かせがより一層効果的になります。役に立つ質問の例としては、英語のみのサイトではありますが、Book Smartウェブサイト（下記のリンク）に素晴らしいものがあります。ここでは、P.E.E.R.とC.R.O.W.D.の2つの頭文字を取ってカテゴリー分けを推薦しており、いつどのようにそれらを使って質問したり、議論のきっかけを作ったりするかについての例が書かれています。

ご家庭で話されている言語での質問や議論のきっかけが見つけにくい場合、学校でも支援していきたいと思います。

来年の初めに、ご家庭で話されている言語でのリーディングをどのように支援するかを検討するため、家庭での読む習慣に関するアンケートを実施する予定です。ご家庭でのリーディングに関して、学校がよりニーズに合ったサポートを提供できるようにするため、アンケートにぜひご協力ください。

下記より、リーディングについてのより詳しい情報に関するリンクをご確認ください。

- 家庭で話されている言語でのリーディングの重要性についての研究:
  Web https://www.colorincolorado.org/article/why-reading-your-kids-your-home-language-will-help-them-become-better-readers
- 質問の例をはじめとして、お子さんと様々なリーディングをする方法について:
  Web http://www.booksmartfamily.com/tips-for-parents-shared-reading.html

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator
rachel.parkinson@kist.ed.jp

ポジティブでいること

冬休みの開始まであと一週間となりました。夏休みが終わって新学期が始まったのが、ほんの少し前のことのようです。世界中の母国にいる親戚について、考える時期がまたやってきました。日本の高いワクチン接種率もあり、KISTのご家族の皆さんの中には、海外旅行を考え始めた方もいらっしゃるかもしれません。友人や家族のみんなと会えると想像するだけでも、笑顔があふれることでしょう。愛する人たちと長い間会えないことによって音信不通になったり、居場所がなくなったように感じたりしている人たちが、会いに行くことを実現できるよう切実に願っています。

前向きな気持ちの裏側で、新型コロナウイルスは変異を繰り返し、今度は「オミクロン」型が出現したようです。このオミクロン型は最初に南アフリカで発見され、他の国々へもどんどん広がってきています。世界中の国々においてまた新しい流行が見られる中で、隔離期間や入国禁止措置は私たちの今後の計画にも影響を与えることでしょう。旅行計画をしているすべてのコミュニティメンバーの皆さんには休みに入る前に、関係する大使館および日本の再入国方法についての最新情報を入手するようお願いいたします。

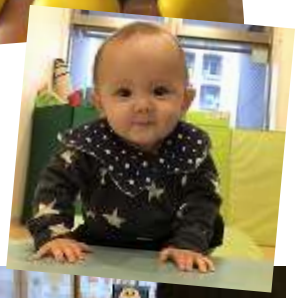
新たな変異種の出現で旅行計画を変えざるを得なくなり、日本に留まることになったとしても、状況を前向きにとらえることを忘れないでください。大人は、子どもたちの心身の健康への影響にも注意してください。外出規制がかかった時を想定して、地元で楽しめるバックアッププランを用意するのも良いでしょう。

近所へのお出かけや、安全な環境で小グループで集まることなども、豪華な外出に負けない息抜きになります。子どもたちはよく愛情や友情に、大人が忘れかけているような反応を示すことがあります。散歩したり公園を訪れたり、季節のごちそうを作ったりするなど、心身を健康に保つのを助ける方法はたくさんあると思います。くれぐれもポジティブでいることをお忘れなく！

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/
Student Care Coordinator

KIPSニュース

From the P0/P1 classroom...



こんにちは。新年度が始まり約3ヶ月が経ち、子どもたちは毎日楽しくKIPS生活を過ごしています。P0のお友だちも入園当初はラックで眠っていたり、ジムマットでうつ伏せや仰向けで過ごしていましたが、今はハイハイでお部屋を動き、つかまり立ちをするお友だちや座るのがしっかりと安定し、周りの様子や景色を楽しむ様子や保育者やお友だちが声をかけると嬉しそうに「あーうー」と喃語で話す姿やP1の子どもたちも1語文から2語文、3語文に言葉が増え、毎日保育者や友だち同士の言葉のやり取りを楽しんだり、P0のお友だちのお世話をたくさんしてくれています。

私は今年も日本語の担当をしています。日本語の時間が始まる際に私が元気よく「P0、P1クラスのみなさんどうぞよろしくお願いします。」と挨拶をすると、新年度当初はその姿をじっと見ていただけでしたが、最近はP1のお友だちも「お願いします。」と挨拶を一緒にしてくれるようになりました。

Termのテーマにあった絵本や歌、季節についてなどをしています。最初の頃は私が絵本を読んでいる姿や歌っている姿などじっくりと見ていた子どもたちでしたが、最近は絵本を読んでいると知っている絵や物などは一緒に声を出して言う姿や、知っている歌が流れると、P1のお友だちは私の真似をして踊ったり、知っている歌詞のフレーズを歌う姿見られ、P0のお友だちはバンボに座りながら可愛く身体を揺らす姿が見られたりと、日々子どもたちの成長を感じ嬉しく思います。季節について話す際には子どもたちが分かりやすいように大きめのイラストを用意し、説明をする際もゆっくりとした口調で丁寧に話すようにしています。子どもたちがもっと楽しんでレッスンに参加出来るように日本の文化や手遊びなどをたくさん取り入れていければと思います。

Hitomi Hirakawa
P0—P1 Teacher

From the P2 classroom...

KIPSでの初日から13週間が経ち、P2の子どもたちは様々な面で成長しています。

まず、お友だち関係を築き、社会性を身につけることから始まりました。ある朝、入り口で「お友だちはもう来ている？と聞かれ、「はい、来ていますよ」と私が答えると笑顔になりました。また、手をつないで一緒に遊び、楽しい経験を共有する子どもたちが増えてきました。一人で靴下を履くのに苦労しているお友だちを助けようとする子どもの姿はとても感動的でした。子どもたちは、パパやママがいなくても、友だちがいればいいということを学んでいるのです。

2つ目は、子どもたちが責任を持ち、協力するようになってきたことです。普通、子どもたちは制限なく遊びたいと思うのは当然のことです。しかし、お片づけの歌がながれてくると、遊ぶのをやめてお片づけをすることを学んでいます。そしておもちゃをどこにしまうのかも知っています。また、おもちゃの置き場所を忘れた時にはお互い助け合います。責任を持ち手伝うことは楽しいことだと学んでいるのです。

最後に、子どもたちは英語をコミュニケーションのツールとして使っています。ランチタイムには、多くの子どもたちが空のお皿を指差し「Yummy」や「More, please」と言えるようになりました。子どもたちが外遊びしているとき、一人の子どもが他の女の子が持っていた凧で遊びたいと言い、「I want to play with the kite」と言うことができました。P2の子どもたちの多くは、英語を母国語とする環境で生まれたわけではありません。自分の要求を他の言語で伝えることは容易ではありませんが、そうすることを学んでいます。

まだTerm 3に入ったばかりですが、子どもたちはもうこんなに成長しています！P2クラスの子どもたちは無限の可能性を持っています。KIPSで過ごす時間が、子どもたちの将来の夢を実現するためのステップとなることを願っています。今後も皆様のサポートやご協力よろしくお願いいたします。

Jina Lee
P2 Teacher

MYPニュース

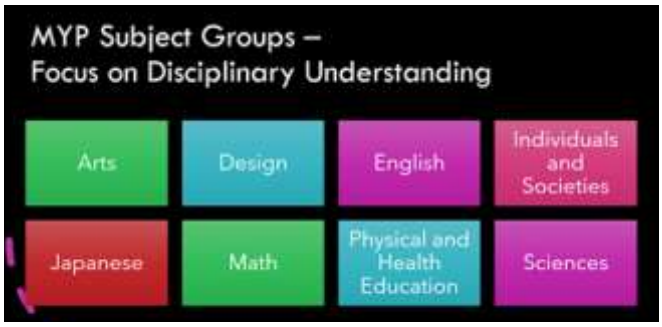
MYP新入生の保護者の皆さんが、KISTでの学習についてのオンライン発表に参加

新学年度のスタートは、もちろん緊張するものです。特に初めての経験をする生徒にとっては、その傾向が強いと言えます。しかし、この変化は子供たちだけに影響するものではありません。ミドルスクール（もしくはKISTそのもの）への移行は、保護者の皆さんにとっても大きな変化となります。

毎年、MYPに初めて参加される保護者の方を学校にお招きし、国際バカロレア（IB）の中等教育プログラム（MYP）における教育と学習のアプローチを探求していただくための機会をご提供しています。今年はCOVID-19の制限により、Microsoft Teamsを使ってセッションが行われました。

9月の祝日に予定されたこのオンラインセッションには、MYP全体から大勢の保護者の皆さんにご参加いただきました。プレゼンテーションでは、大きく分けて、G6からG8までのカリキュラム構成の概要と、MYPの評価についてご紹介しました。

MYPコーディネーターからは、MYPの構造、基本的な枠組みである8科目の概念を学習へのアプローチやIB学習者像、国際理解で教科を超えて繋ぐ考え方についてお話をさせていただきました。



MYPの科目群

次に、KISTでのMYPの実施方法についてご説明させていただきました。各学校は、プログラムの実施方法については各学校がそれぞれに合った実施方法を選択します。この選択により、学校は地域の状況や特性に応じた最良の結果をもたらす分野に焦点を当てることができます。例えば、KISTでは、英語、数学、日本語の提供方法について、生徒に最良の影響を与えられる選択をしています。

KISTでの英語、数学、そして日本語

私と一緒に保護者の皆さんはMYPにおける評価のあり方について検討しました。私からは特に、MYPの教科担当教師が、どのようにして該当する教科の評価基準を用いて一貫性のある判断をしているかについて説明させていただきました。保護者の皆様には、MYP生が、何を評価されているのかを明確に理解し、評価課題に最大限の努力をして取り組むようにお子さんに伝えていただけたらと思っています。

MYPでの評価の仕組み

このオンラインセッションではKISTのMYPについて保護者の皆さんに知っていただける良い機会になったと考えています。

Robert White
MYP Coordinator

KIST学生ディベーター

先月、私は江東区の衆議院選挙公開討論会に高校生ファシリテーターとして参加する機会をいただきました。江東区は、全国の中でも候補者が多い地域だったため、活発な議論が予想される注目の討論会でした。討論会では、候補者はコロナ対策、高齢化社会に向けた政策、税率について議論をしていました。私は、ファシリテーターとして、日本の教育の強み・弱み、また改善点について質問をしました。質問をする際には緊張しましたが、まだ議論されていない話題を問いかけることができて、良かったと思います。各候補者は、教育制度について様々な考えを持っており、ユニークなアプローチなどをお教えいただきました。

今後日本の未来に関わる候補者の方々と話すことができたこと、また、高校生としての視点を提示することができたのは、とても貴重な体験だと思いました。この討論会から学んだことを生かし、周りの生徒たちにも政治に関心を持ってもらえるよう、働きかけていきたいと思いました。

Sara (G11A)

セカンダリーELS

冬休み中の楽しい言語発達法–「これも勉強なんだ！」

私たちは皆、冬休みを楽しみにしています。3週間のお祭り騒ぎと目覚まし時計なしでの起床は、この休暇の醍醐味です。しかし、この休みを利用して、4つのリテラシー分野の言語スキルを継続的に伸ばすことができることをご存知でしたか？驚きですね！

リーディング

英語で

本でも雑誌でも漫画でも、何かを集中して読むのに冬は一年の中で一番良い季節です。英語力の向上を目指すなら、知らない単語を読み飛ばさないようにしましょう。読書中にはハイライトを引き、一節や一章が終わったら必ず意味を確認してください。言葉の意味を覚えたら、再読して、どれだけ内容の理解が深まったかを確認しましょう。

英語と第二言語で

バイリンガルやマルチリンガルの生徒にとって、言語を超えて同じ速度と質で語彙を増やしていくことは大きな課題の一つです。この問題を解決する一つの方法は、同じ文章を異なる言語で同時に読むことです。これにより、単語の知識が身につくだけでなく、口語的な表現や慣用的な表現についても貴重な知識を得ることができます。

リスニング

番組に没頭する

今年の冬休みは、スクリーンを見る時間を制限するようにしましょう(目が喜ぶはずです)。しかし、風があまりにも強い日には、待望のシリーズ番組に没頭することで、言葉の発達に貢献することができます。シリーズ物を見ていると、単語が繰り返し出てくるので、それだけで新しい単語を定着させることができます。また、ターゲット言語の字幕を使うことで、聞いた言葉と読んだ言葉の間にさらなるつながりを持たせることができます。もちろん、生徒の皆さんは自分の年齢に合ったシリーズのみを視聴するようにしてくださいね。

番組に没頭する

東京の冬の特長は、あまり雨が降らないことです。冬休みは、晴れた青空の下で歩道を歩くという、散策者にとっては素晴らしい機会です。素晴らしい散歩には音楽-サウンドトラックが必要です。その中に素晴らしい歌詞があれば、使われている文学的な仕掛けに注目して、自分でも使ってみてください。もし音楽や散策が苦手なら、今はあらゆるトピックのポッドキャストがあります。自分の興味に合ったものを見つけてください。専門的なトピックの中ではしばしば専門用語が繰り返し使われるので、興味を持って楽しみながら専門的な語彙を素早く身につけることができます。話し言葉の話題のついでにオーディオブックもあなたの味方です。

スピーキング

連絡を取り合う

心の健康と言語能力の両方にとって素晴らしいことですので、休みの間もKISTの友達と連絡を取り合ってください。電話をかけたり、直接会ったりして、できる限り英語で話し続けてください。

ライティング

手書きで

多くの人は、文章を書くことに抵抗を感じています。紙やコンピューターの画面に文字を書き込むことを想像するだけで、インスピレーションが妨げられ、緊張の汗が流れます。しかし、本来このように緊張するようなことではありません。他のスキルと同じように、文章を書くことは練習で身につけることができます。興味のあるジャンルやスタイルを見つけて、それを実行してみてください。日記、詩、ZINEの作成、作詞など、数え上げればきりがありません。スキルアップしている間は、書いたものを誰かに見せる必要はありません。タイピングと手書きの両方で練習することを忘れないでください。

豆知識: スペリング力の大半は手の筋肉の記憶だといわれていますので、是非これを鍛えましょう！

Jade Bonus
Secondary ELS Coordinator

Digital Citizenship

Grade 1、Unit 1

G6の各生徒は、インターネットを使用する際に存在する危険性と、それを避けるためにどのような行動を取ればよいかを伝えるためのウェブサイトを制作しました。内容は、仲間のG6、そして全てのKIST生、そして保護者の皆さんに向けたものです。

下記のホームページをご覧になり、ランダムに2～3個のリンクをクリックしてください。お役に立つ情報があれば幸いです。ウェブサイトについて何かご質問があれば、G6の生徒かMr. Timにお聞きください。

Web https://bit.ly/KIST-Digital-G6-2021

すべてのデザインユニットにおいて、G6、G7、G8の生徒は、問題を明確に理解し、ユニットの終わりまでに何をしなければならないかを理解しなければなりません。そのために、生徒は目標や対象を明確にするために、以下GRASPS表を作成します。以下は、**Han** (G6A) の Digital Citizenship ユニットのプランニング例です。

目標
- サイバーいじめとその対処法について伝える

役割(これを考えることは将来の大学進学や、職業選択にも役立ちます)
- ウェブデザイナー

対象
- G6の生徒及びKISTコミュニティー

状況(かかわり方)
- 生徒・学生として

制作・成果物
- デジタルシチズンシップの問題は適切な情報がない場合、G6や保護者が対応するのが難しい問題かもしれません。そのため、対象とする層にAdobe Spark Post, Adobe Spark Webなどのソフトウェアの情報を提供するウェブサイトを制作します。

評価基準
- 基準 B: アイディアの開発
- 基準 C: 問題解決

Timothy Smith
Design Teacher

ソーシャルメディアへの投稿について

投稿する前に考えよう

第2四半期では、6年生から9年生までが、オンラインで安全に過ごすための意識を高め、懸念事項がある場合に他の人をサポートする方法を考えることに重点を置いています。この記事は、オンラインの世界では難しいとされるソーシャルメディアへの投稿について、ご家族をサポートするためのものです。

ソーシャルメディアへの投稿について若者と話すときによく使われるアドバイスは、「投稿する前に考えなさい」というものです。しかし、これは、言うのは簡単ですが、実際に適用するのは難しいものです。

例えば、ある人の前に立ったとき、何かに怒っていたり、動揺していたりしたら、一瞬躊躇してしまうかもしれません。なぜでしょう？

その人と親しい（あるいは親しくない）、仕事や個人的な影響を受ける可能性がある、集団の中にいて周囲の人にどう受け取られるか気になる、などの理由が考えられます。私たちが躊躇するのは、脳が潜在的なリスクをスキャンし、危機管理するための無意識のプロセスの一部です。

私たちは以下のことを考えるようにしましょう。

- 過去の経験
- ボディランゲージ
- 相手との距離感

しかし、このようなリアルタイムの分析を行っても、時には誤った意見が出てしまうことがあります。間違いを犯すのは人間であることを認め、反省しています。

安全なスクリーンの向こう側では、オンラインでの脱抑制が効きます。これには大きく分けて、**良性**と**毒性**の2つの側面があります。

時に人は、非常に個人的な情報を共有したり、秘密の感情や恐怖心を明かしたり、あるいは初対面の人に異常な親切心を示すことがあります。これは**良性の抑制**であり、ほとんど無害です。このような現象は、多くの人がさまざまな問題に悩まされ、心の健康に影響を与えている社会的制約のある時期によく見られました。人々はオンラインで助けやサポートを求めていました。友人や家族だけでなく、見ず知らずの人たちが、共感を得ようとアドバイスや指導をしていました。

しかし、憎しみや怒りが一線を越え、攻撃的になってしまうこともあります。これは**有害な抑制**で、非常に有害であり、状況によっては違法となることもあります。

このような投稿のほとんどは悪意のあるものではありません。誰かが辛い一日を過ごし、そのフラストレーションのはけ口としてこのフォーマットを利用しているのかもしれません。家庭に問題があって精神的に参っているのかもしれませんし、無神経な言葉遣いや急ぎのコメントだったのかもしれません。

前述の「投稿・共有する前に考える」というアドバイスは、善意からではありますが、非常に限定的です。例えば、Fortnite、Roblox、Minecraftなどのゲームは、テンポが速く、スリリングでありながらイライラさせられるゲームです。子どもたちは、ゲームの難しさに直面して「怒り狂う」ことをよく認めます。

大人にとって、画面の向こうで考えていることを抑えるのは難しいということを考えてみることが大切です。衝動をコントロールする能力がまだ成熟していない若者にとって、それはどのようなものでしょうか？

オンライン阻害の理論は、善良な行動や不道徳な行動の理由や言い訳ではなく、物事がうまくいかなくなる原因の一つであることを理解することが重要です。目に見える問題を解決したいのはやまやまですが、このような問題には、唯一の解決策はありません。このような問題の多くは、非常に重要な批判的思考スキルを身につけることであり、それは主に生活体験を通して行われます。

しかし、「ネット上の抑制」などの知識は、老若男女を問わず、学校や家庭で子どもたちと話をするときに役立ちます。また、物事がうまくいかないとき（LINEで喧嘩をしてしまったとか、ネット上で知らない人に話しかけてはいけないと言われ続けているにもかかわらず、なぜか話しかけてしまうなど）の理解にもつながります。

ですから、子どもたちが何をしているのか、何のためにしているのか、子どもたちのネット生活を理解することが大切です。だからこそ、親や教師にとって最も一般的な「安全を守る」方法は、子どもたちと有意義な対話をすることなのです。

そこで、家庭での投稿やコメントについての会話のきっかけとなるような質問を用意しました。これらは家庭での会話のきっかけとなるものですが、アドバイスを行う教室での議論にもつながるものです。重要なのは、ゲームやソーシャルメディアの利用など、生徒たちのオンライン生活に応用してみることです。

質問

- 投稿や共有をする前に考えよう」というメッセージは適切ですか？なぜですか？いつもうまくいきますか？(テンポの速いゲームや、グループチャットのメッセージでのミスコミュニケーションを考えてみてください)。
- 何かを投稿した後に、それを投稿するべきではなかったと気づいたことはありますか？気づいたときにはどうしましたか？もしなければ、そのようなことがあったらどうしますか？(削除することを考え、削除するのが遅すぎた場合は謝ります)。
- 感情的な状態が投稿内容を左右すると思いますか？(ペースの速いゲーム、落ち込んでいるときや動揺しているときにソーシャルメディアを使うことを考える)。

Hannah Cowie and **Matthew Archer**
Student Care Coordinators (Secondary)

G12経済クラス、日本銀行への校外学習

2021年11月8日と9日の二日に分かれ、G12経済クラスは、東京・中央区にある日本銀行を訪問しました。日本銀行を1時間かけて見学し、その機能を学び、豊かな歴史を知り、広大で壮大な建築物を探索しました。

日本銀行はどのような役割を担っているのでしょうか？日本銀行は、日本の中央銀行であり、「銀行の銀行」とも呼ばれています。日本銀行は銀行券の唯一の発行者であり、商業銀行や政府に銀行券を貸し出しています。日本銀行は、物価の安定と持続的な経済成長を達成するために金融政策を実施することで、経済において重要な役割を果たしています。日本銀行は、金利を変更し、金融機関から資産を売買する公開市場操作を行うなど、通貨供給量をコントロールすることで金融政策を行っています。

金融政策や中央銀行の役割については、経済学部のマクロ経済学の授業で学びましたが、初めて耳にする衝撃的な情報もたくさんありました。日本銀行がオンラインシステム「BOJ-net」で100兆円以上の取引を行っていることを知っていましたか？また、現在、120兆円以上の円が流通していることもご存知ですか？

日銀の役割についての説明の後、私たちは歴代総裁の回廊に案内されました。廊下の両側の壁には各総裁の絵が掛けられており、その壮大な内装に一同は感銘を受けました。続いてメインホールに入ると、八面体の部屋に歴代総裁の執務室が設けられていました。現在、すべての作業が行われている近代的な建物への見学は行えませんでしたが、午後4時頃になると、建物全体に音楽が流れ、皆に毎日の運動をするように合図するのが聞こえました。

今回の校外学習のハイライトは、地下の、かつて紙幣を保管していた広大な金庫を見学したことです。厚さ90cm、重さ25トンの鋼鉄製の扉を入ると、目の前にはプラスチック製の容器に入った6,000万円分の紙幣の束がずらりと並んでいました。また、傷んだ紙幣を毎分500枚ずつ自動選別する古い機械もも見ることができました。地面には、かつてお金を運ぶために使われていたトロッコの跡も残っていました。

ツアーを通して、私たちは日本銀行の豊かな歴史を知ることができました。日本銀行は、日本がインフレに苦しんでいた後の1882年に建てられました。1923年の関東大震災と1945年の東京大空襲でも被害を受けましたが、その中でも、業務を止めることができないほど重要な役割を担っていたため、翌日にはすぐに業務を再開したといいます。日銀の歴史を学んだことで、教室での授業を超え、より広い範囲での経済学の理解が深まりました。

日本銀行は日本の歴史の証人であり、経済学が社会の機能や私たちの日常生活にとってより重要になるにつれ、今後も日本経済において重要な役割を果たしていくでしょう。日本銀行を訪問したことは、非常に貴重で教育的な機会であり、今後も訪問できることを楽しみにしています！

Stephen (G12A)

経済学の授業の延長として、東京・日本橋にある「日本銀行貨幣博物館」を訪問しました。貨幣博物館は、日本銀行が何十年にもわたって収集・保存してきたさまざまな通貨や通貨関連の歴史的資料を展示しています。展示室内では、古代（7世紀から12世紀半ば）から近代（19世紀後半から20世紀）まで、年代順に展示がおこなわれていて、日本で流通していた通貨の材質や形状、大きさなどの物理的な変化を示すとともに、人々のお金に対する見方や価値観の変化を紹介しています。

展示物を見ると、日本が最初に貨幣を発行したのは7世紀で、それは中国で流通していた金属貨幣を模したものだったことがわかります。しかし、戦争や政権交代、開国など、さまざまな社会経済の変化に伴い、日本社会の変化に合わせて、常に新しいモデルの通貨に置き換えられてきました。展示の最後には、日本が新しい通貨制度を採用し、現在の私たちに馴染みのある通貨、日本円（￥）を導入したことを示す「近代」の展示がありました。

今回の通貨博物館への訪問は、私たちの経済学の勉強につながります。現在、私たちは、政府が掲げるさまざまなマクロ経済的目標を達成するために、国の貨幣の供給をコントロールし、通貨を安定させる中央銀行の役割について調べています。その一環として、私たちは「お金」の意義とその社会への影響について、地域的・世界的な規模で議論してきました。紙幣のような不換紙幣は、それ自体に価値があるように見えますが、実際には本質的な価値を持たない物体です。しかし、私たちがお金を信じることで、物体に価値が与えられ、個人がそれを使用して経済取引を行うことができるのです。貨幣博物館を訪れたことで、お金の基本的な性質や、さまざまな形のお金に対する日本社会の価値観の変化を直接知ることができ、有意義な機会となりました。今回の校外学習では、デジタル通貨が普及する時代に向けて、お金の役割や今日の私たちの文化や社会との関係を再評価することが求められているという、特別な洞察を得ることができました。

Hanano (G12A)

埼玉大学HiGEPSプログラム

G11の8人の生徒（**Archita**、**Devaj**、**Gi Jeong**、**Gun Hyuk**、**Heet**、**Jiaying**、**Reed**、**Tomoko**）とG10の生徒（**Yudai**）が、現在埼玉大学が主催している「HiGEPS」（高等科学グローバル教育プログラム）と呼ばれる、大学レベルの理数科プログラムに参加しています。そこでは、化学、物理学、情報技術、生物学、天文学から数学に至るまで、様々な分野の専門家によって開催されるセミナーや講義に参加し、内容に基づいて、講義の要約、与えられたプロンプトに対する回答、および生徒の考えを含めたレポートを作成します。このプログラムは、通常、大学1年生に教えられるトピックを学習することにより、生徒に学術的な観点から挑戦させ、批判的思考を深める機会が与えられます。さらに、生徒は基礎知識を応用しながら、新しい知識を得ることになります。

プログラムに参加している75人の生徒のうち、「上級コース」と呼ばれるプログラムの第二段階に受け入れられるのは15人だけです。HiGEPSプログラムの第二段階では、生徒は埼玉大学の学生や教員と一緒に研究することができます。そして、後に国内外で開催されるゼミ、オンライン会議、科学会議で研究成果を発表します。大学レベルの研究活動などのこれらの経験は、高校生にとってとても重要です。これは、生徒が積極的に学習し、知識を応用し、深める機会が与えられるからです。

今後もHiGEPSプログラムでベストを尽くし、学術界や社会に有意義な貢献をする研究を行っていきたいと思います。

Reed（G11A）と**Tomoko**（G11B）

Archita (G11A)

Devaj (G11A)

Gi Jeong (G11A)

Gun Hyuk (G11A)

Heet (G11B)

Jiaying (G11A)

Reed (G11A)

Tomoko (G11B)

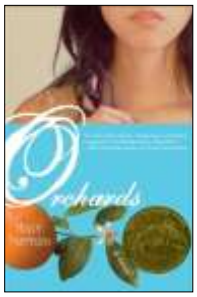
Yudai (G10A)

IGCSE科学の授業から

先日、G9B IGCSE物理学を学ぶ生徒たちは、物体の重心について学ぶ楽しい授業に参加しました。この授業は、生徒にとって、地学や数学を含む教科横断的な内容について学べる機会となりました。これは生徒にとっても、私にとっても、素晴らしい学習経験となりました。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science

Holly Thompsonさんの講演



KISTのMYP生が授業で使用している「Orchards」という小説の作者、ホリー・トンプソンさんが、11月5日（金）にG8の生徒たちに講演をしてくださいました。

作家のホリー・トンプソンさんは、どのようにしてこの小説を企画し、執筆したかについて、興味深いお話をしてくださいました。。物語の舞台は日本の小さな村にあるみかん畑ですが、ホリー・トンプソンさんは実際に何ヶ月もみかん畑で働いてこの本のアイデアを集めていたというのですから驚きです。

その後、生徒たちはホリーさんに執筆過程について質問する機会があり、会場にいる作家志望の生徒たちに刺激的で実用的なアイデアやヒントを与えてくださいました。また、ホリーさんが「ハリー・ポッター」シリーズのファンではないことを知り、残念に思いましたが、その代わりに、お気に入りのヤングアダルト小説を紹介してくださいました。

最後のセッションでは、生徒たちがペアや小グループで詩を作りました。ホリーさんが、生徒たちのアイデアを引き出すために、いくつかの簡単なヒントを下さった後で、詩を作り始めました。このような短時間で、生徒たちの作品がいかに独創的で、創造的で、考え抜かれたものであるかを目の当たりにし、多くの生徒が自分の作品をグループで共有しようとしていました。当日作られた詩の例をいくつかご紹介しますので、お楽しみください。

また、セッション終了後も、多くの生徒のOrchardsにサインをしてくださったホリーさんに感謝しています。8年生はとても熱心で礼儀正しかったので、皆、自分たちを誇りに思うべきだと思います。また、ホリーさんには是非続編を書いていただけることを祈っています。

Isobel Duncan
Subject Area Coordinator—English

ホリーさんの推奨する読書リスト:

- *White Rose* – Kip Wilson
- *Show Me a Sign* – Ann Clare LeZotte
- *A Wish in the Dark* – Christina Soontornvat
- *When You Trap a Tiger* – Tae Keller
- *The Weight of our Sky* – Hanna Alkaf
- *We Are Not Free* – Traci Chee

生徒による詩の一例

When your heart speaks two languages
How can I translate from one to the other?
I cross the bridge to link, but fall into the abyss
Clinging onto your warm words
But you let go
Leaving me suffocating in the grey ashes of pain
Onions make me cry
But they're also sweet and caring
Cooking in the flames, lighting up my path
Burning off burdens
Floating on two languages, my heart speaks

My heart is a blank space
I eat food, noodles, like everyone else.
So why does death come stealing my food?
Why not eat it together?
Sharing is the wonder of love.
Stop killing the seed of love.
Let it grow, even if it makes me cry.

When your heart speaks two languages
You don't know what to say
On one side you may want to express your deepest desire
On the other you may be hiding from view
One part of your heart can't understand the other
And the other part may also not comprehend
Now there is a division in the heart, so which side will you choose?
The black or the red?
The choice is up to you.

運動部最新情報

秋シーズン情報

幸運なことに、9月中旬にいくつかの運動部を立ち上げ、校内での練習を再開することができました。MS（中等部）女子、HS（高等部）女子、HS男子のバレーボール、MS男子のサッカー、JV女子と男子のテニスなどです。10月初旬には、主に関東地区リーグの学校とのリーグ戦を開始することができましたし、クロスカントリーチームも、10月初旬には練習を開始することができました。秋のシーズンは短縮され、KISTはクロスカントリーの決勝戦を除いてトーナメントに参加することはできませんでしたが、多くの生徒がクロスカントリーに参加し、その経験を楽しんでくれたことと思います。

- **MS男子サッカー**チームは他校と3つの試合を行い、最初の2試合は相手サイドに圧倒されてしまましたが、最後のASIJ Bチームとの試合では接戦の末、3対3という成績を残すことができました。
- **MS女子バレーボール**チームはCAJとColumbiaとの試合でどちらも2対0の圧勝でした。
- **JV / HS男子及び女子バレーボール**チームはそれぞれ関東地区と、ISTAAの試合において勝ちと負け、どちらも経験しました。CAJとBSTには接戦の結果敗戦を喫し、経験豊富なColumbiaには圧勝されたものの、CISとTIPSに対しては圧倒的な勝利を収めました。
- **JV男子及び女子テニス**チームは限られた試合数でしたが、男子はCAJを5対0で下し、女子も3–2で勝利を収めましたが、Seisenには4–1で敗れました。
- **Cross-Country**チームは味の素スタジアムでの試合に参加しました。様々な事情から開始時間が遅くなってしまったのですが、JVの試合に参加したKIST生6名は健闘し、**Ethan**（G10B）がトップ10入りを果たし、**Shota**（G9B）もトップ10は逃したものの、12位という好成績を残すことができました。

秋シーズンの運動部活動を支えてくれてコーチの皆さんに感謝します！

冬シーズン2021–22

KISTでは冬シーズンの運動部活動をスタートさせており、学校と、関東リーグの定めたCOVID予防のガイドラインに従って活動をおこなっていきます。試合が12月から始まるので、忙しい1月を迎えることが予想されます。

以下チームが冬の関東・ISTAAリーグに参加予定です。

- MS男子バスケットボール（Bチーム）
- MS女子サッカー（A＆Bチーム）
- JV / HS男子バスケットボール
- JV / HS女子バスケットボール

KISTコミュニティの皆さんにはPowerSchool LearningのKIST Athleticsで試合結果、チームメンバー表、スケジュールなどの情報を公開しています。

Dennis Ota
Athletics Coordinator

MS男子サッカー

JV男子テニス

JV女子テニス

MS女子バレーボール

HS女子バレーボール

HEART
HELP EMPOWER AND ASSIST REFUGEES TODAY

活動内容

私達はHEART(Help empower and assist refugees today)です。私達は内戦や飢餓などの不慮の事態により住むところがなくなった難民達の擁護を目的とし、現在はシリア内戦の影響で国を離れたシリアの難民達への支援と救済を目指しています。また、私達は同じ目的を持つREIという難民支援団体とも協力しています。REIは頻繁に難民達の暮らしをよくするための地域密着型の長期プロジェクトを主催しています。

募金活動

私達は11月23日(火)に、シリアの難民支援のための募金活動であるベイクセールを開催しました。皆様のご支援のおかげで、集まった金額は188,375円です。皆様からいただいた資金はREIに寄付せさていただきます。
REIとは、紛争などによって生み出された避難民の生活が少しでも豊かになるよう、並びに彼らが安心して毎日を過ごせる日々が来るよう、避難民支援を目的とする団体です。
皆様の支援誠にありがとうございました!

このたびは、皆様からのご寄付、ご寄贈を賜り、誠にありがとうございました。メンバー一同深く感謝しております。改めて、これからもこのシリアの難民支援活動に力を注いでいくので、どうぞ今後もお力添えのほどよろしくお願い申しあげます。

図書室ニュース

Library Media Center

サクラメダルとは?

サクラメダル・ブックスは、日本のインターナショナルスクールに勤務する司書による選書で、日本やアジアの作家のものを中心に、様々な国や文化を反映した作品が選ばれています。日本のインターナショナルスクールの生徒に豊かな読み物を提供するために、人気のある作品や文学的な作品が含まれています！

以下は私が最近読んだサクラメダルブックスです。

Shannon Goan
LMC Librarian

Everything Sad is Untrue
—Daniel Nayeri

Khosrou（皆はDanielと呼ぶ）という少年は、イランからの脱出、家族や国の歴史、そして・・・ウンチの話をする。

「ミラー夫人は、私が"筋書きを失っている"し、今ではスペースを埋めるために起こったことのリストを作っているだけだと言います。しかし私は、彼女は私が受け入れない西洋の物語の規則に従っているし、千一夜物語でも基本的にシェヘラザードは単に時間稼ぎをしているのだから、違いはわからないと答えました」

この本は素晴らしかったです！これまで私が読んだサクラメダルブックスの中で一番好きな作品です。

アメリカに難民としてやってきた小学5年生のイラン人の個人的な歴史、彼の家族の歴史、そしてペルシャの歴史と文化が、「千一夜物語の伝統」で語られる物語の中に見事に織り込まれています。また、たくさんのウンチ話や哲学的な考察、時にはウンチ話と哲学的な考察が同じページに書かれていることもあります。

The Things She's Seen
—Ambelin Kwaymullina

交通事故で死んだベス・テラーは、今は亡霊となって、オーストラリアの小さな町で父親の殺人事件の謎解きを手伝っている・・・

この本はオーストラリアが舞台で、オーストラリア先住民のキャラクターが登場するので、とても気になっていたのですが、期待を裏切らない内容でした! 謎はどんどん深まっていき、最後にはどんでん返しが待っています。この物語には暗いテーマもありますが、最終的には希望に満ちた結末が待っています。

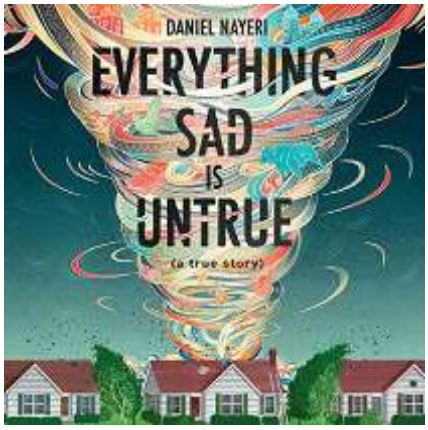
私はオーストラリア出身ですが、オーストラリア先住民の文化についてはあまり知らないので、散文と詩の章が交互に出てくるこの小説に、この本の作家の文化がどのように影響しているのか、とても興味深かったです。

Dark Blade
—Steve Feasey

Lannは平凡な農家の子どもだった。自分の過去を知り、神々から魔法の剣を与えられるまでは・・・

この本の基本的なプロットや世界観は好きなのですが、描写が物足りなく感じました！中学生の頃、この手の本が大好きだったので、古典的な剣と魔法の面白さに期待していたのですが、世界観やキャラクターについてもっと踏み込んでほしかったです。

物語の展開がとても速く、世界観の描写に時間をかけていません。しかし、この作品は多くの人にとって簡単に読める作品だと思います！



次のページに続く

前ページの続き

Elementary Library

音読の時間

声に出して読むことは、生徒たちが流暢に話せるようになるための最も効果的で簡単な方法の一つです。音読の時間において、上達するために必要なことは何冊かの本と集中力だけです。

サクラメダル本のレビュー

下記の本が、音読の時間中、生徒たちによって選ばれたものです。

Priyanka BP
Elementary Library Supervisor

Hair Love
—Matthew A. Cherry

これは単なる髪の毛の話ではありません。病や愛、家族の絆のストーリーなのです。大変な今の時期にぴったりの素晴らしいストーリーです。粘り強い登場人物の姿は、子どもたちに何があっても家族のために前に進み続けることを教えてくれます。Zuriは、本当の自分や個性を隠さず、自分らしくいることに誇りを持つことの大切さ、もし何か、誰かがそれを阻もうとするのであれば、気にせず自分のベストを尽くし続けることの大切さを学んでいきます。

The Singer and the Scientist
—Lisa Rose

アルバート・アインシュタインと歌手マリアンの間の実際にあった、あまり知られていない話です。様々な人種差別について学ぶのに適した本でもあります。歌手と科学者の間の差別を超えた、信じられないような美しい友情についてのお話です。声に出して読みやすく、イラストも爽やかです。人種差別やユダヤ人迫害を含む重めの内容のため、高学年のエレメンタリー生徒向けです。

Bug Boys
—Laura Knetzger

今まで私が読んだ中で最も素敵な少し大きな本で、各ページが愛に溢れています。絵もわかりやすく、とても見やすい本です。お友達との冒険が好きなら、誰でも楽しめる内容です。明るく、楽しく、魅力的な本です。

Staff 10!

今月の*Staff 10！*では、KISTに最も長く勤務しているスタッフの一人、**Claire Yoneyama**をご紹介します。Ms Claireは1999年にエレメンタリースクールのリリーフティーチャーとして勤務を開始し、2001年にK2のクラス担任になりました。今年で勤続20年を迎えるMs Claireは現在K1Aのホームルーム担任を務めています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
私は、フィリピンの首都であるマニラで育ち、マニラの中心部にある城塞都市イントラムロスに行くのが好きでした。イントラムロスは、スペイン植民地時代の最も影響力のある裕福な市民が住んでいた場所で、15世紀から18世紀にかけてのスペイン占領下の影響と、歴史を色濃く感じさせてくれます。マニラにあるリサール公園は、単に「ルネタ」または「ルネタ・パーク」と呼ばれることが多い、最大の都市公園です。この公園には、フィリピンの国民的英雄であるホセ・リサールがスペイン人に処刑されたことを記す記念碑があります。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
私はいろいろな場所を旅してきましたが、私にとって最高の場所はフィリピンです。フィリピンには7,000以上の島があります。多くの島は驚くほど美しく、訪れるのに最適な場所です。そのうちのひとつが、パラワン島のエルニドです。パラワン島は、フィリピンの「最後のエコロジカル・フロンティア」として知られています。スペイン語で「巣」を意味するエルニドは、パラワン島の北部に位置し、64の島と小島があります。そして、生物多様性に富んだ生態系、素晴らしいビーチ、透き通った水、壮大な景色、そして壮大な石灰岩の崖や地層があります。地元の人たちはとても親切で、コミュニケーションも取りやすいです。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
COVID-19のパンデミックにもかかわらず、フィリピンで健康で安全に暮らしている私の両親とは別に、また機会があれば義母も会いたいと思っています。彼女は私にとって第二の母であり、誰よりも心の優しい人でした。パンデミックの影響で1年以上も会っていなかったので、お見舞いにも行けない病院で亡くなったときは心が痛みました。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
私はダンスと歌が大好きです。この年になってもダンスが大好きで、同年代の人たちよりも柔軟性があるかもしれません。マイケル・ジャクソンやブルーノ・マーズ、その他多くのポップ・アーティストの曲を踊るのが大好きです。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
幼い頃の私は、初めて会った友達に男の子だと勘違いされるほど元気いっぱいでした。兄たちが友達と喧嘩するたびに、私は真ん中に立って『大丈夫、私はあなたのために戦うのよ』と言って兄たちを守っていました。私は痩せた腕と小さな拳を、まるで大きな筋肉があるかのように彼の友達に見せていたのです。そしておかしなことに、それが私のお兄ちゃんだったのです！

6) あなたにとって一番の宝物は？
家族は常に私の最も大切な財産であり、何物にも代えられません。私はとても家族を大切にしています。私は、家族を大切にし、責任感や配慮を示すように育てられました。自分に家族ができても、同じように感じています。家族なしでは生きていけないほど、家族を愛しています。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
Communicatorです。自分の考えを独り占めせずに伝えることは、誰もが健康で心豊かな生活を送り、良好な人間関係を維持するために不可欠だからです。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
私は今の自分、そして自分がやっていることに満足しています。しかし、生きている間にもっといろいろなことをしたいと思っています。例えば、まだ行ったことのない場所をすべて旅してみる。世界の美しいものをもっと見てみたいと思っています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
もともと体がとても柔らかいのですが、年齢のせいか、運動不足のせいか、その柔軟性が低下しているように感じます。そこで、ヨガ、特にホットヨガに通い、体のバランスを整えています。毎回、レッスン後は気分爽快です。また、睡眠時間の改善にも取り組んでいます。寝る前に冷たい麦茶を飲むことを覚えました。アミノ酸のトリプトファンと化学物質のメラトニンが含まれていて、良い睡眠を促してくれるのです。

10) ファンに一言お願いします。
笑顔で挨拶！私は、知っている人に挨拶したり、笑顔を見せたりするのが大好きです。時々、知らない人にも笑顔で頭を下げて挨拶することもあります。この（お辞儀をする）美しいしぐさは、日本の文化から受け継いだものだと思います。人に笑顔で挨拶をすると、若々しく、清々しいな気分になります。

いつも笑顔で幸せそうなMs. ClaireがK1Aの「自身の感情を表現する」授業を行っている所。

保健便り

季節性インフルエンザの予防と蔓延防止

入り気温が下がり空気も乾燥しインフルエンザが流行する時期になりました。インフルエンザウイルスは気道感染による急性呼吸器疾患で毎年12月から3月までがピークです。KISTではCOVID-19感染症対策と合わせ引き続き感染予防対策に努めてまいります。

インフルエンザの感染経路は？

- インフルエンザ感染者が咳、くしゃみ、会話をしている時に唾液や鼻水など飛沫に含まれるウイルスが半径2メートル以内の人に飛んでそれが口などに入り感染します。
- まれに感染者が触れた物や部位にウイルスが残っており他者が同じところに触れ、その手を自分の目、鼻や口を触ることによって感染します。

インフルエンザの主な症状

- 急な高熱（38度以上）
- 悪寒
- 筋肉痛
- 頭痛
- 咽頭痛
- 咳
- 鼻水または鼻づまり
- 関節痛
- 倦怠感や衰弱
- 食欲不振
- 嘔吐や下痢（大人より子供の方に多くみられます）

インフルエンザ症状とコロナ感染症の症状は似ているので医療機関にご相談下さい。

インフルエンザの予防

- インフルエンザワクチンを毎年接種するのは重症化予防に効果的です。
- 石鹸を使用したこまめな手洗い。
- こまめな水分補給。
- マスクの着用。
- うがいで喉の粘膜機能の活性化。
- 歯磨きにより口腔内の清潔を保つ
- 加湿器を室内で使用し空気の乾燥を防ぐ。
- 栄養バランスのとれた食事の摂取。
- 質の良い十分な睡眠で免疫力をアップ。
- 手洗いをしていない不潔な手で目、鼻や口を触るのを避ける。
- インフルエンザウイルスが付着している可能性のある物や表面を消毒する。
- 数分程度、部屋の窓を開け換気をはかり新鮮な空気を取り込む。

家庭内でインフルエンザ感染者が出たときの対処法

- 診断が下されていなくても発熱や体調不良があれば早めにでできるだけ体調不良者と接触しないよう心がける。
- インフルエンザ感染者が家庭内にいる場合はできるだけ感染者を別の部屋に隔離し家庭内での感染拡大防止に努める（小さな子どもが感染した場合はケアをする大人を最小限にする）。
- 咳やくしゃみをする時はティッシュペーパーなどで口と鼻を覆いウイルスが飛び散らないように気を付ける。使用したティッシュペーパーはビニール袋などに入れて捨てる。
- 咳、くしゃみや鼻をかんだ後は石鹸で手を洗うか手指消毒を使用し除菌する。

感染時の療養について

- 安静療養：体力の温存と十分な睡眠は免疫力を上げるのに有効です。
- 温めの食塩水などでうがいをして喉の痛みを和らげる。
- 十分な水分補給で脱水予防に努める。
- 医療機関でインフルエンザと診断されると抗ウイルス薬が医師から治療薬として処方されます。これらの薬はインフルエンザ感染に伴う辛い症状や期間、合併症を抑えるのに有効です。そして抗ウイルス薬は症状が進行する48時間以内に使用するのが一番効果的です。
- インフルエンザの解熱剤として小さな子どもや青春期の子どもへのアスピリン使用はライ病の報告がされており、医師の指示以外ではアスピリンの使用は避けるべきです。

インフルエンザ出席停止期間の基準

学校保健安全法の改正に伴い、インフルエンザ感染後の登校再開日数が変更されました。発症後5日間、解熱後48時間は感染力がありますので、発症して5日経過後、かつ、解熱した後2日を（K1からK3は解熱後3日）過ぎてから登校して下さい。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:
Centers for Disease Control and Prevention. (November 2021). *Influenza (Flu).*
Retrieved from https://www.cdc.gov/flu/index.htm

保護者会（CA）ニュース

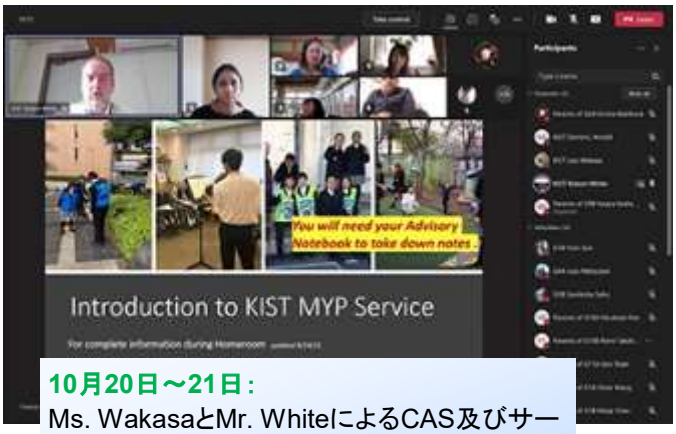
9月～11月までボランティア活動にご協力くださった皆様に感謝申し上げます！これからもご協力よろしくお願い申し上げます。

KISTコミュニティアソシエーションに関しての詳細は**PowerSchool KIST CA Page**をご覧ください。

KIST Community Association

10月8日、15日：
G6によるKotoアダプト清掃プログラムの付き添いサポートを行いました。

10月16日：
旧制服の中古販売会を行いました。



10月20日～21日：
Ms. WakasaとMr. WhiteによるCAS及びサービスに関する説明会をサポートしました。CAのオンラインによる開催は初となります！

11月23日：
KISTファミリーよりお寄せいただいた中古書籍回収を行いました。1日だけにも関わらず、約300冊にも及ぶ本が集まりました。皆様、心より感謝申し上げます！

お忘れなく！ベルマークの回収場所はこちら・・・

テトラパックとベルマーク、インクカートリッジの回収場所はエレメンタリービル受付の隣にあります。インクカートリッジはエプソン、キャノン、ブラザーの3種のみ回収しています。

テトラパックは写真のように開いて洗っていただき、乾かしてください。CAは年度末にまとめてベルマークファンデーションに郵送するサポートを行います。お持ちいただいた方の学年、クラス、生徒名をお忘れなくご記入ください。

大学ガイダンスニュース

卒業生と、賞の獲得について

KIST生、教員、セカンダリー保護者の皆さんにとって、とても忙しい季節が到来しました。G12は大学の出願準備に忙しく、G11はDPでの最初の学期を終えようとしています。低学年生徒は、将来どのような授業を受けるべきか考えたり、自分が何者であるかを正確に把握しようとしています。このような状況の中、今号では一歩引いて、卒業生に関するニュースと、受賞に関すること、在校生が自分をアピールするためにできることについても触れたいと思います。

自分をアピール!

毎年、G9のアドバイザリークラスで、私は生徒に "What makes you interesting?" と問いかけます。すると、「何もない、自分は普通だと思う」という答えが返ってきます。これは高校生によくあることです。人生の中で、人と違うことが最優先ではない時期なのです。素晴らしいサッカー選手であることは、誰もが自慢したいことです。G9で養蜂に夢中になっている学生は、「変だな」と思うかもしれませんが、大人になってみると、**その変なことが一番印象的で面白いことが多いのです。大学側もそう思っています。**

このような考え方を生徒に理解してもらうための最初のステップは、第一印象を与えるのと同じように、1分間で自分をアピールするプロジェクトです。自分には何もアピールすべき面白いものがないと言っていた生徒たちが、料理やデジタルアートのスキルを披露してくれました。また、デザート探しに夢中になったり、緑色のものに夢中になったりしていました。最終的には、誰もが自分らしい発言をしてくれました。これらは、私たちが子供たちに奨励したい分野です。**人と違うことを受け入れよう**。

これはどう大学に関係するのですか?

大学は学生の間に特異性を求めています。個性的な経歴の持ち主、何か新しいものを持っている生徒など、多様なクラスを作りたいのです。ですから、工学系の女子学生の方が男子学生よりも合格する可能性が高いのです。同様に、韓国のトップスクールに合格するには、韓国人ではない方が有利です。

国籍や性別、アイデンティティを簡単に変えることはできませんが、それ以外の自分をアピールすることはできます。学生であれば、もし養蜂に情熱を持っているのであれば、それをより深く追求してみてはいかがでしょうか。(養蜂に興味があれば、Ginza Honeybee Projectをチェックしてみてください!)私たちは世界で最も大きな都市のひとつに住んでいます。何か興味のあることがあれば、Googleで検索すれば、それを探求するためにできることが見つかるはずです。正解や不正解はありません。私は、トップ学生が、羊の放牧、女子ラグビー、詩を追求するところを実際に見てきました。

学習に関わる受賞歴

生徒の中には、自分の学問的興味を反映した情熱を持っている人がいます。最近では、インターンシップやコンテスト、イベントに参加する学生が増えてきました。これらは、自分をアピールするための最良の方法のひとつです。学校内のイベントに参加することは、自分が何かを楽しんでいるかどうかを発見するのに最適な方法です。それを学校の外でも活かしていくことで、競争の激しい世界で一歩抜きん出ることができるのではないでしょうか。

EHL Business Case Competition

最近、KISTの生徒であるTomoko(G11B)は、スイスのホスピタリティビジネスとホテルマネジメントのトップスクールであるEHLのオンラインビジネスケースコンペティションに参加し、自分をアピールすることができました。初対面の生徒とチームを組み、100以上のチームが参加した中で、チームは総合3位を獲得しました。

Tomokoのコメントです。

- このコンペティションでは、既存の企業にビジネスアイデアを提案し、そのサービスにホスピタリティを加えることが求められました。
- 第1ラウンドでは、100以上のチームがビジネスアイデアを提案しました。
- 第2ラウンドでは、5つのチームだけが選ばれ、"Board of inventors"(ビジネスの専門家で構成された審査員)の前でアイデアを発表しました。
- 本物の専門家から学び、既成概念にとらわれない発想をする良い機会となりました。
- 大学出願にも役立つと思います(私もそう思います!)
- **Tomokoからクラスメートへのアドバイス**。学校以外の機会にもどんどん応募してください。自分の才能や作品を認めてもらえるチャンスがあるかもしれません!

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday, 8:30 a.m. –5:30 p.m.
University Guidance Office (3F Secondary Building)

KIST卒業生コーナー

KISTバーチャルフォーラム2021年冬

これまでのバーチャルフォーラムの成功を受けて、このイベントを継続的に行うことを計画しました。この冬は直近の卒業生によるセッションが行われ、春にはさらに多くの卒業生が参加する予定です。これらのフォーラムはMr. Waterfall（日本語はMr. Kei Komaki）が担当していますが、卒業生には自分の経験をできるだけ率直に話してくれるようお願いしています。皆、KIST、東京、そしてIBDPのことをよく知っています。質問をするのに、これ以上のリソースはありません。次回のフォーラムについてのメールをお楽しみに。また、KISTvのページで過去の録画をご覧ください。

Date/Time (Monday JST)	Name	Class of…	Forum language	Undergraduate university	Other countries applied to
Nov. 8 | 6 pm	Justin	2020	English	University of New South Wales, Australia	
Nov. 22 | 8 am	Yukino	2021	Japanese	University of California Davis, USA	Canada
Dec. 6 | 6 pm	Yui	2020	Japanese	University of British Columbia, Canada	USA/Japan
Dec. 20 | 8 am	Shubhankar	2020	English	University of Melbourne, Australia	UK

Justin（2020年卒業生）– University of New South Wales, Australia

皆様にどのような会話がなされたかを知っていただくため、Justinのバーチャルセッションからいくつかの質問を掲載しています。彼は冬のフォーラムの最初のプレゼンターで、2020年卒業生のうち、DPで高得点を取得した。卒業生の一人でした。プレゼンテーションとQ&Aセッションは約1時間で、G8～G12の家族と生徒が参加しました。Justinは現在、ニューサウスウェールズ大学（UNSW）で学んでいます。

QS World Rankings 2022によると、UNSWは世界で43位、工学とテクノロジーの専攻では世界で36位（オーストラリアでは1位）となっています。

Mr. Waterfall:
今日は2020年卒業生のJustinからお話を聞きます。

Justin:
ありがとうございます、こんにちは。2020年に卒業しました。DPでは経済、ビジネスマネージメント（経営）、物理をHLで履修しました。今はオーストラリアのシドニーにあるニューサウスウェールズ大学（UNSW）で量子工学の学士号取得を目指して学んでいます。

Mr. W: 今のところ大学のどのようなところが気に入っていますか？そして大学を選んだ理由は？

J: KISTに在籍していたときから目指していた工学において実績のある大学だからです。また、シドニーに住みたいと思っていたので、まさにぴったりでした。今までで一番気に入っているのは、チューターや先生とのつながりです。誰もが親切にしてくれるだけでなく、クラスメートや私が楽しんでいるかどうかを確認してくれます。

Mr. W: 出願プロセスはどうだったのですか？オーストラリアでは卒業後の出願になりますが？

J: KISTでは、5月に（DPの）最終試験期末試験を受け、6月にGrade 12を終了し、7月に卒業します。そこから3ヶ月ほどで願書作成に取り掛かり、どこに行きたいかを考えて、願書を提出します。すべては、卒業してDPの最終スコアが戻ってきてから行われます。オーストラリアでは、大学への出願は他の国より少しのんびりしています。

Mr. W: 似たような質問になりますが、出願条件は最終のDPスコアだけということで非常に明瞭だったと思います。卒業前に進路について検討していた際に、必要なスコアを満たすことができないのではという心配はありましたか？

J: それぞれの大学について、さまざまなコースと必要とされるIBスコアを確認することができました。もし学生がそのスコアを上回っていれば、ほとんどの場合、入学が保証されます。それ以下のスコアでも入学のチャンスはありますが、保証されているわけではありません。英国とは異なり、HL要件など特定の科目に対する制限はほとんどありません。ですから、PG（Predicted Grades）や模擬試験で自分がどのくらいのスコアを取るかがわかった時点で、どこを検討すればいいのかがわかりました。

次のページに続く

前ページの続き

Mr. W: PGと実際の成績はどうでしたか？かなり正確なPGだったのでしょうか？

J: 最終的なPGは41で、最終成績は少しそれを上回りました。出願予定だったコースは38～40点を要求していたので、これまでの成績を維持すれば射程範囲だと自信を持つことができました。そして最終的にすべてうまくいきました。

Mr. W: 何か予期せぬことが起こって最終成績が想定より低かった場合のことは考えていましたか？

J: もちろんです。なので、要求される点数が低めのコースも検討していましたが、ありがたいことにそのコースに出願しないで済みました。でも、もし、再検討することになったとしても、卒業後の3か月を使ってゆっくり考えられたと思います。

Mr. W: もしもの事態が起きた場合、現在とは別の進路に進んでいた可能性もあったということですね？

J: はい。でも、回り道をしたとしても、最終的に同じ進路に至る道はあると思います。例えば、もっと幅広いコース選択のある大学に入って別の専攻に編入するとかです。大学に入ってからしっかり結果を残していれば道は開けてくると思います。

Mr. W: 複数の大学に出願しなくて済んだというのも良かったですね。要求される成績（点数）を取得していれば、合格が保証されているということですからね。では、1校のみに出願したのですか？

J: そのとおりです。要求された成績で、合格が保証されている大学1校にのみ 出願しました。なので、他の選択肢は検討せずに済みました。世界中の様々な大学に出願していた同級生よりずっとストレスが少なくて済んだと思います。

Mr. W: SAT のスコア（受験）を検討したことは？

J: いいえ、オーストラリアは追加に求められるものがないので、とてもシンプルです。私の場合はただIBスコアのみが必要でした。幸運なことに、オーストラリアはIBにとても寛大で、私たちのスコアはうまく変換されました。ですから、IBを履修するだけで既に出願に有利な状況が整っています。奨学金を申請する場合は、余分なエッセイを書いたり、インタビューを受けたりするかもしれませんが、それ以外の場合は、IBディプロマを取得することが最大の目標です。

Mr. W: 先ほどのインタビューでは、大学での授業がかなり厳しいとおっしゃっていましたが、実際はどうなのでしょうか？受験生の中には、オーストラリアをバックアップや安全のための選択肢として考える人もいます。それは正しい選択だと思いますか？実際に現地の学生としてそう感じますか？

J: 出願のタイミングを考えると、第一志望ではない場合の予備の選択肢としては、賢い選択だと思います。卒業して出願するまで何も約束する必要がないので、選択の自由があります。しかし、授業は初日から厳しいものとなります。多くの学生がオーストラリアを第一志望としているので、クラスの学生は賢く、授業は厳しいものです。ですから、3年間で簡単に学位を取りたいと思っている学生には、オーストラリアはお勧めできません。

Mr. W: あなたは正しいコースに入ったということでいいでしょうか？

J: 実際にコース（授業）は1月から始まりました。そのため、DPを終えた後の休暇を楽しむことができました。中には卒業後すぐに7月からスタートしたいという学生もいると思いますが、私はその前にゆっくりとした休暇を取ることをお勧めしたいと思います。DPを終了するのはかなり大変なので、その間に大学の願書を作る必要がなく、試験だけに集中できたのはラッキーでした。それでも、高校と大学の間の休みを利用して、海外旅行や海外生活に必要なものをすべて準備することができたのは良かったと思います。

Mr. W: 後輩たちに向けたアドバイスをお願いします。

J:

- 良い学習習慣を身に着けることです。大学では誰も手取り足取りしてくれる人はいません。すべては自分次第です。
- 先生（教授）やtutorに質問できるようになりましょう。学習内容が難しくなる中、これらの人に質問できるということは大いに役に立ちます。アドバイスを求めることが出来ないタイプの学生は苦労すると思います。
- 自分自身に制限を設けないこと。手の届かないようなことにも挑戦してみる。挑戦してみなければ、どんなチャンスが巡ってくるかわかりません。
- インスピレーションを与えてくれることは積極的に探しましょう。将来、何に興味を持つかはわかりません。だから、大学で話を聞いたり、いろいろなインターンシップに参加したり、クラスメートに質問したり、趣味を持ったりするのはいいことだと思います。
- 願書で「見栄えのする」ことには積極的に参加しましょう。基本的には、奉仕活動をしたり、チームのリーダーになってみたり、自分をユニークで際立たせることができることを積み重ねていきましょう。

Mr. W: 今日はありがとう。

J: 聞いてくださってありがとうございました。